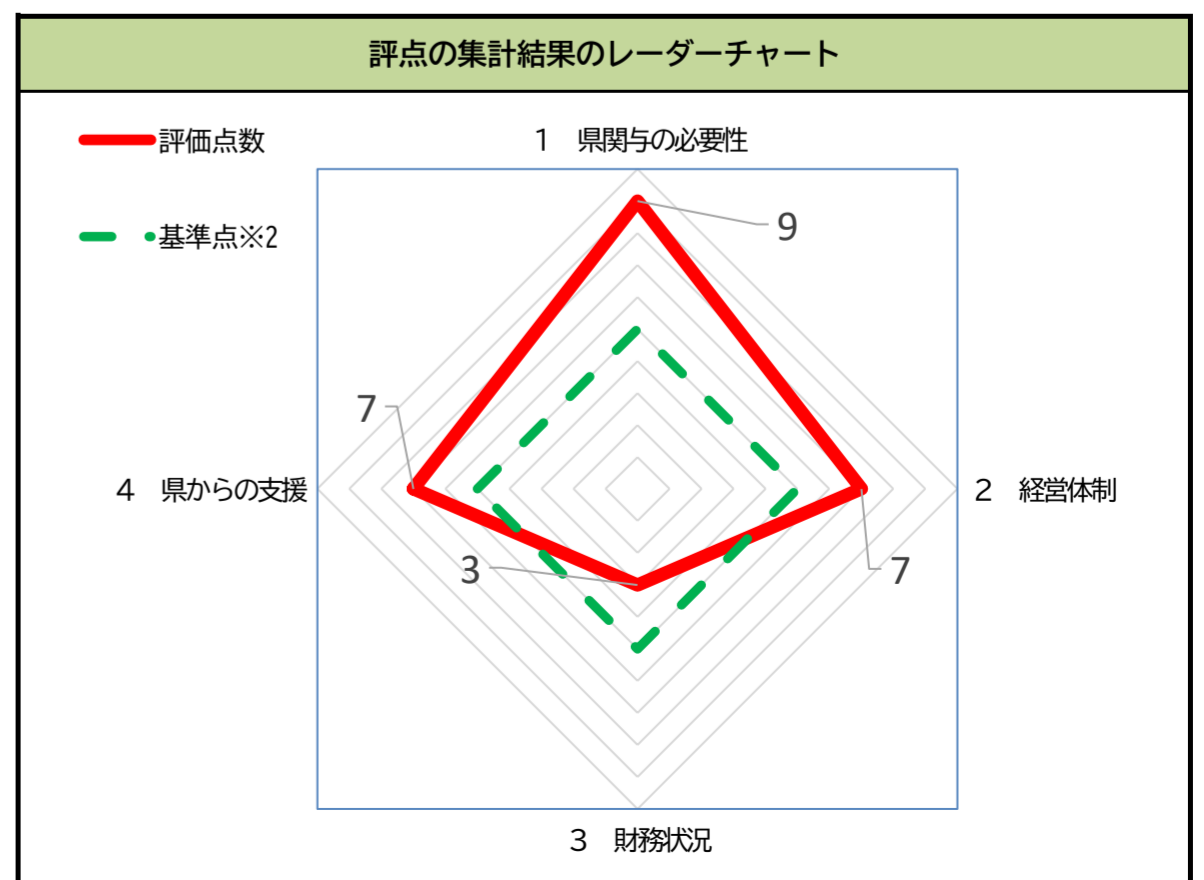


公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート
【公益法人以外用】

団体名称	いすみ鉄道(株)	所管所属名称	総合企画部交通計画課	評価実施年度	令和5年度	※1【説明】は評点をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評点をつけた側の採点結果及び説明を受けて評点をつけていない側が所見を記入しています。		
評価の視点	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価		
				評点	説明又はコメント※1	評点	説明又はコメント※1	
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問い直してもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4	【コメント】 改革方針に沿って経営分析を行い、旅客運輸収入の増加策等を検討してきたが、沿線市町の人口減少・少子高齢化等により乗客数が減少しており、鉄道事業の収支は厳しい状況が続いている。 一方、近年は観光資源としての存在意義が高まっており、いすみ鉄道の認知度が高まることで、沿線市町にとっても、良い効果を生んでいると認識している。 また、小湊鐵道といすみ鉄道で、房総半島を横断できる「房総横断鉄道」として存することにより、南房総地域に観光客を呼び込むための役割も担っている。	1	【説明】 会社法第440条で貸借対照表のみ公表すればよいところホームページで損益計算書も公表している。 ③民間人材を代表取締役役に登用している。 ④資格を有する社員が減少しており人材確保が急務である。県と協議しながら対応を図りたい。 ⑤令和3年度、令和4年度と2年連続で最終損益は黒字であったが、令和元年度の台風災害、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい収支状況が続いている。長期収支計画ローリング時に県と協議しながら収支改善策を図りたい。	1	
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4					1
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果を比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4					1
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ適切な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体					1
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5-2					0
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【コメント】 法令違反等はなく、法的義務のない決算書の公表を行うなど、経営の透明性を高めている。 有資格者の確保については、他社からの人材紹介のみならず、自社育成等を通じて、安全運行維持のため、計画的に人員の補強に努めていく必要がある。 令和3年度と比較して、感染症に伴う行動制限が緩和されたこと等により、鉄道・旅行・売店の各事業収益は改善傾向にあるものの、中長期的には収益目標を達成しておらず、ためまめ経営改善への取組が必要である。	1		
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1				
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8	1				
	④ 人員体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8	▲1				
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9	0				
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【コメント】 沿線市町の人口減少、少子高齢化等により乗客数が減少していたところ、令和元年度の台風・大雨災害、新型コロナウイルスの影響で観光需要の影響もあり乗客数が激減し旅客収入は大変厳しい状況となった。 県や市町の補助金収入で経営は維持できているが、経常収支は常にマイナスとなっており、厳しい経営状況が続いている。収支改善に向け、県に相談しながら対策を講じていく。	1		
	② 経常損益の状況【公益法人以外用の評価項目】	1点：直近3年間はいずれも黒字である。 0点：直近3年間に赤字の年度があった。 ▲1点：直近の決算は赤字であった。	10	▲1				
	③ 繰越損益の状況【公益法人以外用の評価項目】	1点：直近3年間はいずれも黒字である。 0点：直近3年間に赤字の年度があった。 ▲1点：直近の決算は赤字であった。	10	▲1				
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5-2	▲1				
	⑤ 財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体	0				
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援を受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	0	【コメント】 感染症の影響は落ち着きつつあるものの、厳しい経営環境であることには変わりなく、赤字補填の補助を継続する必要がある。 このような状況下において、鉄道事業収支の大幅な改善は困難であり、付帯事業での収支改善を図るよう取り組むとともに、感染症収支後を見越して、新たな事業に取り組むなど、自立した経営を志向して事業を進めることが求められる。	1		
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1				
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1				
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的な支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	▲1				
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1				

評点の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	評点	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	4	9
2 経営体制	5	2	7
3 財務状況	5	▲2	3
4 県からの支援	5	2	7

※2「基準点」は、超えていなければ、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてもらうことを期待しています。



総務課による総括コメント
経営健全化方針に沿った取組に努めているが、経常損益は赤字基調であり、依然として財務状況は大変厳しいものと言わざるを得ない。関与方針及び経営健全化方針に基づき、団体と県で連携して一層の経営改善を進め、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。
なお、運営費補助等を県から受けているが、団体の特殊性を踏まえると、現時点ではやむを得ないものとする。また、人材確保の課題については、団体において早期解消に努めていただきたい。